

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	岩見沢市社会福祉協議会子ども発達支援センターつみき園		
○保護者評価実施期間	R7年1月6日		～ R7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	92名	(回答者数) 75名
○従業員評価実施期間	R7年2月3日		～ R7年2月22日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの発達状況に合わせて、多職種の職員が対応します。 (理学療法士、作業療法士、保育士、児童指導員を配置している。)	・子どもの発達状況や必要性に応じて、個々に職員配置をし、活動に取り組んでいます。	・それぞれの職種が質を高め、偏った指導やマンネリ化にならないために試行錯誤してまいります。
2	・活動のために広いスペースが保たれています。大型遊具などを活用したり、様々な活動内容を提供します。	・室内にはアコーディオンカーテンがあり、それを利用して環境調整を行い、静的または動的な活動内容を組み込んでいます。	・今ある資源を有効に活用しながら、マンネリ化を防ぎ、創意工夫に努めます。
3	・市内の歯科医に依頼し、年2回歯科検診を行っています。歯の発達状況を診てもらったり、フッ素を塗布してもらっています。保護者から相談にものってもらっています。	・風邪などで病院に行くことはあっても、子どもが泣いたり騒いだりするのはないかと心配になり、歯科受診をすることはハードルが高い保護者が多いようです。未就園児を中心に個々の状況に合わせて受け入れています。	・今後も歯科検診を継続し、子どもの状況に合わせて受け入れてまいります。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・通園形態や通園時間が固定されているため、利用者が希望する日程を調整できないことがあります。	・集団指導と個別指導を並行して行っているため、どちらにも職員の配置が必要となります。	・できるだけ希望に沿えるように、職員配置を検討しながら、集団または個別指導を提供してまいります。
2	・施設の老朽化(水道、トイレの水回りや配置)	・昭和50年代の建物。子ども用のトイレに2つの便器がありますが、オープンになっていて仕切りがありません。	・仕切りがないため、カーテン等で仕切ること検討していきたくと思っています。
3			